

平成27年 第2回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	1 2 番	中 澤 俊 介	一問一答
2	2 番	稲 葉 健	一問一答
3	1 4 番	増 田 葉 子	一問一答
4	1 0 番	近 藤 瑞 枝	一問一答
5	2 0 番	山 田 喜代子	一問一答
6	1 5 番	松 尾 榮 子	一問一答
7	2 1 番	橋 本 和 治	一問一答
8	1 7 番	軍 司 俊 紀	一問一答
9	1 番	伊 藤 真 一	一問一答
1 0	1 8 番	金 丸 和 史	一問一答
1 1	1 9 番	板 橋 睦	一問一答
1 2	9 番	海老原 作 一	一問一答
1 3	7 番	浅 沼 美弥子	一問一答
1 4	8 番	岩 崎 成 子	一問一答
1 5	6 番	櫻 井 正 夫	一問一答
1 6	4 番	玉 木 実	一問一答

質 問 1

質問者 12番 中 澤 俊 介

1 スポーツ振興について

(1) 五輪誘致は今後どうなるのか

①ボート・カヌー競技の印旛沼誘致の検証

(2) ラグビーワールドカップ2019キャンプ地誘致はどうか

①関係団体との連携

(3) 芝生化事業は進展しているのか

①平岡自然公園グラウンドの整備

2 印西市制施行20周年記念事業について

(1) 成田市制施行60周年記念事業を参考にしているかどうか

①主要事業と実施計画

3 高齢者福祉について

(1) 医療費・介護給付費削減のための予防事業をどのように展開するか

①ラジオ体操の励行

②いこいの湯の再開

③ふれあいバス等の敬老パス制度の導入

4 牧の原小学校の開校について

(1) 施設整備及び備品等の充足はどうか

①瑕疵の有無や教材備品の調達

質 問 2

質問者 2番 稲 葉 健

1 障害者福祉について

(1) 特別支援学校卒業後の進路先について

(2) 障害福祉計画では、どのように位置付けされているか

(3) 子ども発達センターの現状と課題について

2 「芸術文化事業」の取組について

- (1) 平成25年3月21日に印西市教育委員会より「印西市文化芸術の振興に関する基本方針」が制定されているが、その中で「印西市文化・芸術振興計画の策定を行い、総合的・計画的に文化芸術の振興を図る。」とあるが現状の進捗状況はどうなっているか

3 市制20周年記念事業の取組について

- (1) 市制20周年記念事業実施にむけての市の考えについて
- (2) 実施に向けての計画、体制の現状について

質 問 3

質問者 14番 増田 葉子

1 10年後をみすえた高齢化対策を

今年度からスタートした第6期印西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画によると、今年、印西市は高齢者率がはじめて20%を越えて20.7%となり、10年後の平成37年には28.6%、65歳以上の人口は26,384人になると予測されています。そのうち、要支援・要介護者は4,196人と予測され、現在の1.5倍以上になります。言うまでもなく保険料も比例して、第6期に月額4,700円となった1号保険料基準額は、平成37年には月額7,347円に達すると予測されています。

現在でも介護・医療の人材が足りない施設やサービスがあるなかで、いったいこの10年間はどのような状況が展開され、10年後1.5倍となった要介護者は、地域でどのような暮らしを強いられているのでしょうか。これまでに以上に、状況の分析や施策の決定を急ぎ、業務の再構築を図らなければ、対応しきれなくなることは火を見るより明らかです。

こうした背景をふまえ、10年後をみすえた高齢化対策をこれからともに考えていく一助となることを願って、以下の質問をいたします。

- (1) 第6期計画を推進していく上で、もっとも優先して取り組むことは何か。
- (2) 昨年度、地域資源の洗い出しを行っているはずだが、第6期計画での日常生活圏域ごとに地域資源の現状はどうなっているか。地域ごとに何が不足しているのか。
- (3) 現在、医療・福祉の専門職はどの部署に何人いるのか。

2 学校の適正配置とコミュニティ

先の第一回定例会で学校適正配置審議会が設置され、5月25日からさっそく審議が始まりました。学校は子どもたちの学び場であるとともに、子どもを通じた地域コミュニティの核であり、印西市はさわやかコミュニティ事業など学校区をコミュニティエリアとする政策をとってきました。しかし今、学校の配置や通学区域が、コミュニティ政策の視点を欠いたまま、教育委員会の内部のみで議論が進められようとしているのではないかと危惧を抱いています。

- (1) 学校適正配置審議会の委員はどのような知識経験をもつ方々なのか。
- (2) 審議会のスケジュールはどうなっているのか。また審議会で一定の結論が出た以降はどのようなスケジュールになるのか。
- (3) コミュニティ政策を所管する部門は、どのような対応をするのか。

質 問 4

質問者 10番 近 藤 瑞 枝

1 北総線問題への取り組みについて

- (1) 運賃値下げについて
 - ①どのように取り組んできたか。
 - ②今後の働きかけをどのように考えているか。
- (2) 印西牧の原駅の利便性向上について
 - ①どのように取り組んできたか。
 - ②今後の働きかけをどのように考えているか。

2 龍腹寺線について

- (1) 計画は予定どおり進んでいるか。

3 通学路・通園路の安全確保について

- (1) 通学路・通園路の安全性について、どのように把握し、どのように改善しているか。
- (2) 街路灯設置についてどのように考えているか。
(物木滝線、市道00-031号線、滝野北側道路)

4 印西牧の原駅圏への郵便局開局について

- (1) どのような現況か。
- (2) どのように取り組んできたか。
- (3) 今後の働きかけはどのようなものか。

質 問 5

質問者 20番 山 田 喜代子

1 第2次基本計画にのぞむ市長の基本的な見解は。

基本計画は基本構想に示された「施策の大綱」に沿って、その具体的な「施策」を体系的にしめすもので、前期計画は、今年度で終了となる。後期計画となる第2次基本計画は、来年度から始まる。市長の見解を伺う。

2 空き室（UR賃貸住宅）・空き家対策について

- (1) 平成20年の住宅・土地統計調査による統計上の数値と比較し、現在の数値の把握はされているか。
- (2) UR賃貸住宅の空き室の状況の把握はされているか。
- (3) 空き室・空き家の有効利用を考えているか。

3 中央南地区の小学校について

マンション建設の増加に伴い、人口増の中、地域に小学校が設置されていない為、子ども達は、内野小、小倉台小へと通学している。

- (1) 地域に小学校が設置されていない現状を、どう認識しているか。
- (2) 子どもにとっての最善の利益を考えているのか。
- (3) 小学校建設の考えはあるのか。

4 牧の原地区の郵便局の設置について

- (1) 誘致の進捗状況を伺う。
- (2) 「駅北口に建設されることになりそうです。近く株式会社日本郵便が発表する見通しです。」と4月18日付け発行の議員ニュースがある。
市長の認識はどうか。

5 「いこいの湯」の再開について

- (1) 再開の見通しについて伺う。

質 問 6

質問者 15番 松 尾 榮 子

1 千葉ニュータウン事業について

昭和42年から取り組まれてきた千葉ニュータウン事業は、昨年（平成26年）3月末をもって収束したが、印西市においてはまだ多くの未処分地があることから、平成30年度までは用地の処分等が継続されるとのことである。前議会において、千葉ニュータウン事業の総括について考えを伺ったが、その後の動向について伺う。

- (1) 事業用地、住宅用地の新規契約等の動向
- (2) URの新たな販売方式（進出条件提案方式）と今後の見通しについて

2 印西市の医療体制について

市民が安心して暮らせるまちづくりに向けて、1～3次の医療ネットワークが充実した安定した医療体制の整備は市民の願いである。そこで伺う。

(1) 平成博愛会印西総合病院について

5月8日付けの同病院のお知らせによると、産婦人科担当の同病院院長が退職され、7月5日から産婦人科が休止になるとのことである。

- ①市への説明の状況
- ②今後の見通し
- ③市としての対応

(2) 医療法人社団生和会（仮称）千葉ニュータウンリハビリテーション病院の現状と今後の見通し

(3) 休日・夜間小児救急医療体制について

3 「いこいの湯」の再開について

平成26年3月末で閉鎖された印西市総合福祉センター「いこいの湯」について、印西市議会は昨年6月定例会において市民から出された「“いこいの湯”の再開を求める請願」を19：2の圧倒的多数で採択したが、未だに再開は実現していない。そこで伺う。

- (1) その後の検討状況
- (2) いつ再開するのか

4 文化・芸術活動の推進について

市総合計画第1次基本計画では、文化政策として、文化・芸術活動の推進がうたわれている。しかしながら、現況では、市民が様々な芸術活動の成果

等を発表する展覧会等を開催する場所がなかなかないという声を聞く。

- (1) 市民の自主的な文化・芸術活動の支援についての考え方
- (2) 展示施設について
- (3) (仮称)文化・芸術振興計画策定への取り組み状況
- (4) 現況の中で利用しやすい展覧会・展示会等の開催に向けて、利用する市民の意見を聞く体制づくりについて

質 問 7

質問者 21番 橋 本 和 治

1 板倉正直市長の政治姿勢を問う

(1) 板倉市長は千葉県に対して地方自治法第176条第5項の規定による審査の申し立てを行った。

- ① 県の裁定はどうであったのか。
- ② 市長はこの裁定をどう評価しているか。

(2) 広報いんざい特別号について

① 平成27年3月21日付け広報いんざい特別号

「五輪競技場は来月にも決まると言われています」と記載されているが、五輪競技場は4月に決定したのか。

② 平成27年4月11日付け広報いんざい特別号

ア 市長が公務を休んでプライベートで出かけたスイスとドイツの旅行のことが記載されている。私的な旅行を公費で、しかも特別号を出してまで公報することの是非について、市長の見解を伺う。

イ 「I O C, I Fによる候補地の技術評価」とあるが、そもそも候補地そのものは技術評価の対象にならない。「候補地の技術評価」とはどういう意味か。

2 防災の取り組みについて

(1) 印西市消防団協力事業所表示制度が平成26年度から始まったが、その進捗状況を伺う。

(2) 大学生・専門学校生の消防団加入を促進するため、本市において学生消防団活動認証制度を導入する考えはないか。

(3) 災害時の「在宅避難」の普及・推進に向けて本市の検討状況を伺う。

- 3 公共施設の屋根貸し方式による太陽光発電導入について、市長は平成26年第三回定例会において「当該事業のメリットは認識しておりますことから、今後スピードを上げて取り組むよう指示した」と答弁した。現在の進捗状況を伺う。
- 4 請願第26—2号 市道00—014号線（通称プラタナス通り）の振動対策を求める請願は、平成26年第一回定例会において賛成全員で採択された。その後の市の対応を伺う。

質 問 8

質問者 17番 軍 司 俊 紀

1 千葉県子ども・子育て支援事業支援計画と印西市について

「子ども・子育て支援新制度」では、市町村が幼稚園教育・保育、子育て支援のニーズを把握の上策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭に対するさまざまな支援を行い、千葉県では、新制度の実施主体である市町村を支援するための計画を策定することになっている。印西市は県が策定したこの計画について、どのように内容をとらえ、県と連携を図っていくのか。

- (1) 待機児童について、印西市では現状をどのように把握し、県が掲げる「待機児童ゼロ」と整合性を保っていくのか。
- (2) 県の支援計画では「小学生の放課後対応の充実」という項目があるが、印西市では以前から懸案となっている学童保育の新設を含めた、今後5年の計画は考えているのか。
- (3) 子ども虐待防止対策の一つとして、市町村では「要保護児童対策地域協議会」を設置していくことが県の支援計画には記載されているが、現状をどのように把握し、今後、具体的にどのように事業の推進をはかっていくのか。

2 学校の規模の適正化について

今年、千葉ニュータウン内の小倉台小学校と原小学校では新1年生としてそれぞれ181名、144名の児童が入学し、全校生徒数も831名、724名となっている。

また、この傾向は今後も続き、学校現場からは教室が足りないなどの声も

あがってくると同時に子どもたちの教育条件・環境に不均衡を生じさせ、教育内容・活動に様々な影響を及ぼす恐れがある。今後、市では、短期的に、また中長期的にどのような方針を立て、対応していくのか。

- (1) ニュータウン中央駅周辺では、大規模マンションだけでなく、一戸建ての分譲も進み、今後、小倉台小学校に通うと思われる児童の学習環境にも多大な影響を及ぼしていくものと考えている。

来年度の新1年生が入るまでには短期的な対応が必要であり、また中長期的には例えば「東京電機大学」移転に伴う「空き校舎」の活用も考えていくべきでないかと思うが、検討は進んでいるのか。

- (2) 原小学校についても、草深地区での住宅開発に伴い、児童数が増大し、学習環境に影響を及ぼすことが懸念されるが、市はどのような措置、対応をとっていくのか。

3 高齢化社会と印西市について

印西市は昨年、東洋経済新報社による「住みよさランキング」で3年連続で全国1位になりましたが、一方で市民から「車がなければ生活できないのが印西市」といわれ、また「市内の公共運輸事情は最低の街で、人の住む街ではありません。」とまで苦情が入ってくる。

印西市では高齢化社会がさらに進展するなかで、今後、どのような施策をとることができるのだろうか。

- (1) 牧の原地区やいには野地区から直接市役所方面へ行くバス路線は増便（新設）できないのか。
- (2) 居住する地域で買い物ができるような施設の誘致について、市は積極的に関わることはできないのか。（特に高花地区や滝野地区）

4 北総鉄道の高運賃問題について

印西市では北総鉄道に対して「耐震化対策事業」として、本年度約2,500万円の補助金支出を行っている。

今後、高運賃対策にどのように取り組んでいくのか。

- (1) 現在、北総鉄道と具体的な話し合いはされているのか。
- (2) 近隣自治体と具体的な話し合いはされているのか。

5 市内医療機関の今後と市民の声について

- (1) 医療法人 生和会は「(仮称)千葉ニュータウン リハビリテーション病院」の設置を来年4月の病院開設を目指すということで、市当局も議会で質問に回答してきたが、進捗が見られない。現状と今後の見通しはどうなっているのか。

- (2) 「平成博愛会 印西総合病院」は入院施設は再開しているが、夜間休日

診療を含む、二次救急機能の再開の見通しについて市はどのように把握しているのか。

- (3) 一部市民の声として福島原発事故による「甲状腺疾患」に対する不安が伝わってくる。印西市としてどう応えていくのか。

6 牧の原駅圏の将来に向けて

- (1) 郵便局の誘致はどうなっているのか。
(2) 東の原地区の外周道路には街路樹がないが、今後の植樹計画はあるのか。

質 問 9

質問者 1 番 伊 藤 真 一

1 国民健康保険税（国保税）について

社会保障の根幹である国民健康保険。負担能力を超える国保税が全国でも問題になっていますが、印西市における、現状の確認と対策について質問いたします。

(1) 現状の確認について

- ①滞納している人は、どのくらい居るのか。
②払えないで保険証を取り上げられた人は、どのくらい居るのか。

(2) 対策について

- ①負担能力を超える場合、どの様に考えているのか。
②一般会計からの繰り入れ、又は、財政調整基金からの繰り入れで、負担の軽減はできないのか。

2 踏み切り通行時の安全性改善について

J R 成田線の踏み切り通行時に、傾斜が急すぎて、安全性に問題があると考えますので、質問いたします。

- (1) 全ての踏み切りの傾斜について、把握しているのか。
(2) 対応について、どの様に考えているのか。

3 木下駅、小林駅の利便性改善について

J R 成田線の2駅について、利便性の改善要望が有りましたので、質問いたします。

- (1) 木下駅エレベータでの、自転車の運搬利用を可能にできないか。

(2) 小林駅自由通路の清掃を、するべきではないのか。

質 問 10

質問者 18番 金丸和史

1 女性消防団について

- (1) 現状はどのようになっているのか。
- (2) 女性意見を防災に取り入れている状況は。
- (3) 訓練の状況
- (4) 募集しているのか。

2 板倉市長の市政運営について

- (1) 私費で行った欧州旅行をなぜ公費である広報を使用して掲載したのか。
- (2) 欧州旅行の際、公用車は一切使用していないか。
- (3) 地域創生法案の財務省説明に市職員を派遣しなかった理由は。
- (4) 千葉県議会議員選挙中、公職選挙法に抵触するような事例はなかったか。
- (5) 2020年東京オリンピック誘致の方向性について
 - ①本競技場誘致は正式に断念したのか。
 - ②キャンプ地、練習地の誘致は今後どのように考えるのか。
- (6) 当印西市議会との関係を今後どのように考えているのか。

3 医療連携と医療・介護の連携について

- (1) 現状はどのようになっているのか。
- (2) 医療連携構築に向けた取り組みはどうか。
- (3) 医療と介護の連携の今後はどう考えているのか。

4 平成30年とされている国民健康保険の広域化について

- (1) 現在、どの程度のことか通知されているのか。
- (2) 想定していることは何か。
- (3) 一般会計からの制度外繰り入れが今後どのようにっていくのか。

質 問 1 1

質問者 19番 板橋 睦

1 教育問題について

(1) 学校適正化について

- ①印西市学校適正配置審議会委員について
- ②市内小・中学校へのアンケートについて
- ③適正化に向けての今後のスケジュールについて

(2) プール開放について

- ①今年度の運営方法について
- ②実施校数と選定について
- ③予算について

(3) 新学校給食センターについて

- ①進捗状況について

(4) エアコン設置について

- ①進捗状況について

2 指定廃棄物問題について

(1) 県内の最終処分場確保について

(2) クリーンセンターに保管されている焼却灰の保管状況について

(3) 手賀沼終末処理場の汚泥の保管状況について

(4) 発作下町内会からの要望について

- ①金山落とし堀の改修
- ②関枡橋へ歩道の増設

質 問 1 2

質問者 9番 海老原 作 一

1 空家対策について

近年、日本の空家率は増加の一途をたどっており、平成26年7月の総務省発表によれば、全国的空家は820万戸となり、空家率は13.5%と過去最高を更新している。このような空家の増加は、社会問題化してきており、

平成26年4月1日現在、全国で空家対策条例を355の地方自治体が制定し、千葉県内においても15市1町が条例を制定している。そして、その条例ではリスクを有する空家の所有者に対し、指導、勧告、命令、公表という対応手段を定めている。中には、罰則、行政代執行という厳しい対応を定めているところもある。

国においても、適切な管理が行われていない空家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を与えている事に鑑み、平成26年11月27日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」を公布し、平成27年2月26日に施行している。また、関連の規定は平成27年5月26日が施行日となっている。

このような状況を踏まえ、印西市の対応について以下の質問をいたします。

(1) 空家対策の推進に対する印西市の対応について

- ①空家対策条例の制定の必要性について
- ②空家対策実施体制の整備について
- ③空家等の実態把握について
 - ア 空家等の所在、所有者の調査について
 - イ 固定資産税情報の内部利用について
 - ウ 空家情報のデータベース化について
- ④空家等対策計画の策定について
- ⑤特定空家等に対する措置について
 - ア 特定空家等への立ち入り調査について
 - イ 固定資産税等に関する所要の措置について
 - ウ 代執行を含むその他の措置について

2 印西市の防災体制について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では多くの人々が犠牲となり、今なお避難生活を余儀なくされている方たちが多く存在しています。

また、チベットの大地震では多くの犠牲者が発生したとの報道があり、心より哀悼の意を表するものであります。

地震等の災害は、いつ発生するのか予想できない事を再認識させられたところであり、常日頃から心構えと備えを怠らない事が重要であると考えられます。そこで地震等の災害に対する印西市の取り組みについて質問いたします。

(1) 印西市の取り組みについて

- ①大規模災害時における要援護者に対する支援体制について
- ②各避難所の役割と機能について
- ③全市一斉総合防災訓練の実施について
- ④印西市民アカデミー第16期生3名からの提言について

(2) 自主防災組織への支援について

- ①自主防災組織の活動に対する現状認識について
- ②自主防災組織等による指定避難所ごとの連携体制について
- ③自主防災会安否確認のための名簿作成に対する支援について

質 問 1 3

質問者 7番 浅 沼 美弥子

1 道路等維持管理について

合併から5年、東日本大震災から4年が経過した。道路等補修が未実施となっている等維持管理の積み残しが年々重なり膨れ上がっている感がする。今後ニュータウン地域の道路等が経年劣化し始める時期が来た場合どうなるか懸念がある。現状を把握し計画性を持って必要な予算は確保し着実に維持管理を行ってほしい。

- (1) これまでの状況と課題及び今後の方針について伺います。
- (2) 植栽についての基準はあるか伺います。

2 市民サービスの向上策について

- (1) 婚姻届等を工夫することでサービス向上が図れないか。
- (2) 窓口におけるプライバシー保護策を講じる必要はないか。
- (3) 広報紙の自動配信サービスを導入する考えはないか。

3 農業振興について

- (1) 都市農業振興基本法への認識と印西市農業振興計画策定の考えについて伺います。

4 教育行政について

- (1) いじめ防止の取り組みの現状と課題について伺います。
- (2) 改正地方教育行政法施行に伴う対応の現状と課題について伺います。

5 市民相談から

- (1) 図書館の開館時間を延長できないか。
 - ①近隣市の状況はどうか。
 - ②ニーズは把握されているか。

- (2) 他市で昨年、台風によってゴルフ練習場のネットが倒れるという事故があったが、わがまちにおける危険な工作物は把握されており対策は講じられているのか。
- (3) 公共交通の充実について
- ①ふれあいバス
- ア 停留所設置要望はどう把握されどのような検討がされてきたか。
- イ 今月おきた事故について、発生状況と原因及び今後の安全対策を伺う。
- ②交通不便地域の住民の「足」を確保するための新たな施策の考えはあるか。
- (4) 公園及びその駐車場の開閉時間について
- ①ニーズを把握し改善してはどうか。

質 問 1 4

質問者 8番 岩 崎 成 子

- 1 交通施策の充実について
- 執行部において、今年度より交通政策課を新設し、交通施策の充実を図っていることと思いますが、まだまだ交通不便地域解消のための課題等が山積しています。そこで伺います。
- (1) 交通不便地域の現況についてどのように認識しているのかを伺います。
- (2) 交通不便地域解消のための取り組みについて現在、担当課においてどのような議論があるのか具体的に伺います。
- 2 鳥獣被害対策事業について
- 現在、イノシシ等有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、防護柵等を設置し、鳥獣被害対策事業を実施しています。そこで伺います。
- (1) イノシシ等有害鳥獣による被害状況の現況について伺います。
- (2) 現在、実施している有害鳥獣被害対策における課題について伺います。
- 3 教育の充実について
- (1) 現在、国際社会に対応するために本市においてALTの配置を強化して外国語教育を推進しています。そこで伺います。
- ①外国語教育における本市の取り組みは順調に進捗しているのか伺います。

(2) 児童、生徒の能力向上のためには教材等教育備品の整備は必要であると
考えているが、学校現場からの要望に十分な対応はできているのか伺いま
す。

4 生活道路の修繕について

(1) 平賀学園台入居開始から約27年、地区内の生活道路においては、道路
のひび割れや破損等が目立っています。応急処置で対応はしているが今後、
地区内の道路の修繕を計画的に進めて行くのか見解を伺います。

質 問 1 5

質問者 6番 櫻 井 正 夫

1 猪の被害対策について

有害鳥獣の被害が深刻です。いろいろ被害対策はやっておりますが質問さ
せていただきます。

- (1) 以前より被害は減少しているか。
- (2) 住民からの被害の報告は。
- (3) 防護柵等は、これからも続けるのか。
- (4) 別な捕獲法は考えているのか。

2 印西市所有の土地使用について

- (1) 元印旛村所有の師戸城下の土地使用の活用の考えはないか。
- (2) 景観が良い場所なので観光とミニ道の駅等など考えはないか。

3 印旛沼でオリンピックの会場開催の話題と成り、その後についてどうなっ ているのか。

- (1) オリンピックの特別号の広報がでてから(5/1・5/15)と定期の
広報が発行されているが、その後、最新情報が解らないのでお聞きします。
- (2) 予算計上で1億円近い額でしたが準備費と思いますが内容について明細
を知りたいのですが。

質 問 16

質問者 4番 玉 木 実

1 印西市を取り巻く交通網の整備

(1) 圏央道全面開通の促進化

現在は千葉港：成田カーゴから出てくる大型車両が茨城県南部（つくば：土浦方面）に行くのに当市を通過して渋滞となっているが、これが解消されると予測されるが当市の考えは。

(2) 民間団体〔成田第3滑走路実現する会〕が16万人余の署名を携えて国土交通省に要請した事を当市はどうとらえているか。

2 学童通学路の安全確保について

(1) 内野小に通う戸神台地区の学童が歩いている千葉NT大橋歩道は〔自転車走行レーン〕になっており大変危険である。通学時間帯には自転車通行不可や車道に自転車レーンを設置するとか対策が必要であるが当市の考えを伺いたい。

3 買い物難民について

(1) 高花ショッピングセンター内において旧イイダスーパーが閉店して3年経過しているが、未だに出店の気配は無くマイカー、自転車の無い高齢者は困っている。当市はどのような対策を考えているのか。